



基本計画

- 第 1 章 重点プロジェクト
- 第 2 章 前期基本計画

第1章 重点プロジェクト

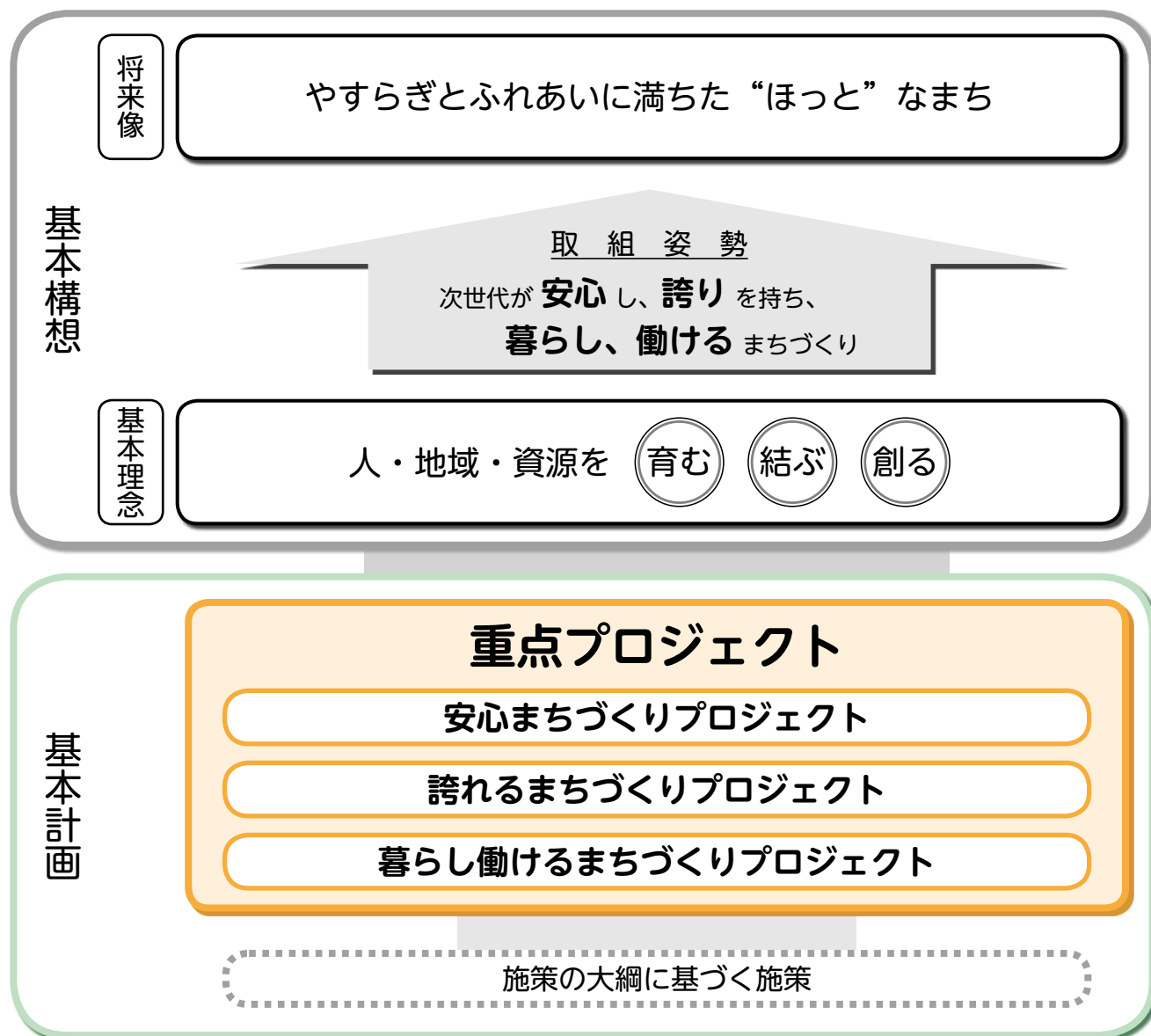
1 重点プロジェクトの位置付け

重点プロジェクトは、将来像の実現に向けた取組姿勢である「次世代が安心して、誇りを持ち、暮らし、働けるまちづくり」を具体的に推進するため、安心、誇り、暮らし働ける、の3つの視点により、先導的な役割を果たす取組や事業を横断的に位置付けるものです。

2 重点プロジェクトの推進に当たって（人口減少危機突破）

渋川市人口ビジョンによると、本市の将来人口は減少することが見込まれており、地域経済の縮小や地域コミュニティの維持に深刻な影響を及ぼす人口減少問題は喫緊の課題と言えます。

そこで、雇用を生み出す新たな企業誘致の実施、交通利便性の向上による交流人口の拡大、若者・子育て世代を始めとする幅広い世代の移住・定住の促進などに取り組み、人口減少による危機の突破を図り、「次世代が安心して、誇りを持ち、暮らし、働けるまちづくり」を推進することとします。



3 重点プロジェクトの構成

重点プロジェクトでは、成熟する社会への転換を迎え、**基本理念「人・地域・資源を 育む 結ぶ 創る」**に基づき、まちの質を高める取組を推進します。

(1) 安心まちづくりプロジェクト

「地域支え合い活動の推進」

災害などから市民を守るため、自助・共助・公助それぞれの取組を育み、効果的に結び付けるとともに、誰もが安心して健やかに暮らせる地域づくりを担う多様な主体を創出するため、「地域支え合い活動の推進」に取り組みます。

主な施策

1－1 消防・防災対策の充実

1－2 防犯体制の整備・充実

2－1 地域福祉の充実

2－4 スポーツと健康づくりの推進

5－3 生涯学習の充実

6－1 市民との協働

(2) 誇れるまちづくりプロジェクト

「観光などの地域資源の強化と 新たなしぶかわブランドの創出」

伊香保温泉を始めとした観光や地域特性をいかした農業などの各種産業、歴史ある地域文化など豊かな地域資源を育み、磨き上げることでブランド力を高めるとともに、それらを多面的に結び付け、新たな魅力や活力を創出するため、「観光などの地域資源の強化と新たなしぶかわブランドの創出」に取り組みます。

主な施策

3－1 農林業の振興

3－2 工業の振興

3－3 商業の振興

3－4 観光の振興

5－4 地域文化の振興

6－5 情報共有の推進

(3) 暮らし働けるまちづくりプロジェクト

「地域力をいかした子育て支援の強化」

働きながら安心して子どもを産み、育てることができる地域ぐるみの取組を有機的に結び付け、充実した子育て環境を創出するため、「地域力をいかした子育て支援の強化」に取り組みます。

主な施策

1－5 定住環境の充実・促進

2－2 子育て環境の充実

2－3 保健・医療の充実

4－5 公園の整備

5－1 学校教育の充実

5－2 青少年の健全育成

第2章 前期基本計画

施策の大綱に基づく施策の体系

1

安全・安心に
暮らし続けられるまち
【安全・安心、暮らし】

- 1-1 消防・防災対策の充実
- 1-2 防犯体制の整備・充実
- 1-3 交通安全対策の推進
- 1-4 消費者生活の充実
- 1-5 定住環境の充実・促進
- 1-6 安定した水の供給
- 1-7 汚水処理の充実

2

健やかに育み支え合うまち
【健康、福祉、スポーツ】

- 2-1 地域福祉の充実
- 2-2 子育て環境の充実
- 2-3 保健・医療の充実
- 2-4 スポーツと健康づくりの推進
- 2-5 高齢者福祉の充実
- 2-6 障害者（児）福祉の充実
- 2-7 介護保険の充実
- 2-8 国民健康保険制度の安定的な運営

3

魅力と活力があふれるまち
【産業】

- 3-1 農林業の振興
- 3-2 工業の振興
- 3-3 商業の振興
- 3-4 観光の振興
- 3-5 勤労者対策の充実

4

自然と調和した快適なまち
【都市基盤、自然環境】

- 4-1 連携を強化する道路・橋りょうの整備
- 4-2 生活に身近な道路の整備
- 4-3 公共交通体系の充実
- 4-4 計画的な土地利用と良好な市街地の形成
- 4-5 公園の整備
- 4-6 環境保全対策の推進
- 4-7 ごみの減量化・再利用

5

豊かな心と文化を育むまち
【教育、文化】

- 5-1 学校教育の充実
- 5-2 青少年の健全育成
- 5-3 生涯学習の充実
- 5-4 地域文化の振興

6

協働による持続可能なまち
【自治、協働、行財政】

- 6-1 市民との協働
- 6-2 人権意識の向上・平和な社会の推進
- 6-3 男女共同参画の推進
- 6-4 交流連携の強化と国際交流の推進
- 6-5 情報共有の推進
- 6-6 情報化の推進
- 6-7 適正な組織体制と健全な行財政運営
- 6-8 市有財産の適正な管理・運用
- 6-9 広域行政の推進・産学等との連携の推進

施策の見方

基本計画は6分野40施策で構成されています。分野別の各施策については、見開き2ページで内容を説明しています。

この施策に取り組むに当たり、前提となる社会的状況や本市の現況と課題を示しています。

基本方針を踏まえ、具体的な取組内容を示しています。

施策を展開していくための基本的な考え方や方向性を示しています。

1-2 防犯体制の整備・充実

● 現況と課題

県内における刑法犯認知件数^{※1}は、平成16（2004）年をピークに減り続けています。本市においても、児童生徒などが事件に巻き込まれないよう、青少年補導員や学校区を中心とした地域住民によるパトロール及び青色回転灯装備車両を活用した自主防犯ボランティア団体によるパトロールの実施などを行い、市内における刑法犯認知件数が減り続けています。

しかし、市民に大きな不安を抱かせる子どもや女性に対する声かけ事案は毎年発生しています。今後も、警察などの関係機関との連携・協力を図り、防犯に関する情報提供によって市民一人ひとりの防犯意識を高め、自主防犯パトロールの促進、子ども安全協力の家の周知・指定先の増加など、地域ぐるみの防犯体制を一層充実していく必要があります。

また、夜間の犯罪などを未然に防止するため、LED防犯灯の効果的な設置を継続し、安全な環境づくりを推進する必要があります。

○ 刑法犯認知件数の推移

年度	件数
H24	590
H25	501
H26	488
H27	465
H28	356

資料：浜川警察署

子どもの安全を守る自主防犯活動

● 市民意見（■：市民ワークショップ意見、◆：懇談会意見）

■ 市民が協力して防犯パトロールを行う。
◆ 下校時の安全・安心パトロールについて、隊員の高齢化が進み、人員確保が難しくなっているので、対策を検討してもらいたい。

● 意識調査（■：市民意識調査、◆：中学生・高生意識調査）

■ 市長になったら何をしたいか
◆ 中高生が夜も安心して歩けるよう、生活道路に街灯を増やしたい。
◆ 児童生徒が安全で安心に登校できるようなまちにしたい。

基本方針

多様化する犯罪などを未然に防止し、市民が平穏に暮らせる安全で安心なまちづくりを推進します。

取組内容

(1) 防犯意識の高揚

広報紙等を活用して、犯罪発生・不審者情報などの情報提供を行います。

また、警察など関係機関と連携し、犯罪の被害に遭わないための講習会等を実施します。

(2) 防犯活動の推進

登下校時の児童生徒の安全を確保するため、要望のある場所をパトロールコースに加えるなど青色防犯パトロール活動を強化するとともに、子ども安全協力の家の周知を行い、指定先の増加を図ります。

より効果的な防犯活動を行うため、青少年補導員の研修や青色防犯パトロール実施者講習を定期的に実施します。

(3) 防犯環境の整備

夜間の犯罪などを未然に防止するため、自治会からの要望に対して防犯灯の効果的な設置を継続して行うほか、警察など関係機関と連携し、犯罪抑止に効果のある施設の整備を図ります。

指標

項目	現状値（平成28年度）	目標値（平成34年度）
刑法犯認知件数（暦年）	356件	300件
青色防犯パトロール実施回数	357回	450回
防犯灯設置数	7,355基	7,510基

主要事業

○ 安全安心なまちづくり推進事業
○ 防犯灯設置及び維持管理事業

○ 青少年育成推進事業

関連する計画・指針等

□ 浜川市安全で安心なまちづくりを推進するための計画

※1 刑法犯認知件数…刑法犯のうち、被害届や告訴、告発、その他の手がりにより、その犯罪の発生を警察が認知した事件数のことです。

計画策定のため開催した市民ワークショップや懇談会でいただいた主な意見を記載しています。

現況と課題についての統計データなどを必要に応じて掲載しています。

施策の進捗状況や効果を定量的に把握するため、現状値と目標値を記載しています。

計画策定のため実施した市民意識調査、中学生・高生意識調査の設問「市長になったら何に力を入れますか」でいただいた主な意見を記載しています。

専門的で難しい用語などについて解説しています。

施策に関係する主な事業を例示しています。

施策に関連する計画などを例示しています。

30